

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kids-Houseにじいろ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日		R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 1人
○従業者評価実施期間	R7年 3月 1日		R7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の工夫	アセスメントを基に個別支援計画を丁寧に作成し、子どもの発達に合わせた支援を実施している。	発達段階に応じたツール（視覚支援など）をさらに導入し、職員間でのケース共有を強化を検討中。
2	保護者との連携	毎日の記録や送迎時の対話、面談などで密な情報共有を行い、信頼関係を築けている。	保護者アンケートの実施頻度を増やし、要望をより反映した支援計画に繋げる。保護者向けの勉強会・交流会の開催も検討。
3	活動プログラムの充実	季節行事、創作活動、感覚統合あそびなど多様な活動を取り入れている。	活動後の振り返りを通じて、子どもの反応を分析し、より効果的なプログラム設計へつなげる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	空調設備の効率性	一部の活動スペースで冷暖房の効きに差があり、室温管理が安定しない時間帯があった。	空調設備の定期点検と必要箇所のリプレースを実施し、温度センサーでのモニタリングも検討中。
2	バリアフリー環境の未整備	施設の構造上、一部段差や狭さがあり、移動に配慮が必要な児童への対応に限界がある。	保護者様より要望があった際にはスロープの設置などを検討し、段階的に環境整備を進める。利用児童のニーズに応じて優先順位を設定。
3			